環境パートナーシップちば
だより
―つながれ ひろがれ―

第１２１号
特定非営利活動法人
環境パートナーシップちば

℡：090-8116-4633
E-mail：info@kanpachiba.com
http://kanpachiba.com/

第１回（平成 30 年度）通常総会開催挨拶

特定非営利活動法人環境パートナーシップちば　代表理事 桑波田 和子

皆さまこんにちは、第１回通常総会にご出席いただき、ありがとうございます。

また、ご来賓の千葉県循環型社会推進課副課長の平川様、藤平様、千葉県環境財団業務部次長の須藤様には、ご多忙の中、ご臨席いただきありがとうございます。

当会は、平成 30 年１月 25 日特定非営利活動法人環境パートナーシップちばとして、誕生しての初めての総会となりました。前身の環境パートナーシップちばの 20 年間の歩を活かし、法人としての新たな思い、責任など、代表理事としても緊張して臨む総会となりました。

当会は、環境活動の推進と充実を図るため、市民・団体・企業・行政・学校とのパートナーシップのもと、「持続可能な開発に向けた目標(SDGs)」や「持続可能な開発のための教育(ESD)」の視点を意識して、さらなる持続可能な社会の実現をめざすことを目的としています。また、それを実行するために以下の事業を挙げています。

(1)持続可能な社会を目指すための多様な主体とのネットワークの構築

(2)持続可能な社会を推進するための人材育成

(3)環境活動の推進と充実を図るための情報の発信

これらの事業目標を展開するために、平成 30 年度の事業計画を議案として総会に提案させていただきました。「平成 30 年度千葉県環境講座」、「エコメッセ 2018in ちば」などこれまでの事業継続に加え、「SDGs を達成するための ESD 地域リーダー担い手育成事業」など新たな事業に取り組んでいきます。

特定非営利活動法人環境パートナーシップちばとしての歩みはこれからですので、皆さまのご支援、ご協力を切にお願いいたします。

NPO 法人 環境パートナ-シップちば 第１回通常総会来賓挨拶

千葉県 循環型社会推進課 副課長 平川久美子

本日は、総会にお招きいただきありがとうございます。

「環境パートナーシップちば」の皆様におかれましては、日頃、地域の環境保全活動から、地球温暖化対策、循環型社会づくりなど、幅広い活動を実践され、千葉県環境講座など本県の環境行政の推進に御協力をいただき、厚く御礼申し上げます。

また、今年で２３回目となるエコメッセの開催に当たり、桑波田代表をはじめ、皆様には長年多大な御尽力をいただいておりますことに、改めて感謝申し上げます。

さて、県では平成２０年に「千葉県環境基本計画」を策定し、千葉の自然を次の世代に受け継ぐことを目標に様々な施策に取り組んでまいりましたが、現行計画は今年度末に期間終了となるため、次期計画の準備を進めているところです。

現行計画の策定以降、原発事故をはじめ、環境を取り巻く状況は刻々と変化してきました。このような中、循環型社会の構築を目指すためには、県民・企業・行政が一丸となって諸問題に取り組む必要があり、「環境パートナーシップちば」の皆様の役割は非常に重要です。

県としましても、各主体との連携に努め、環境保全活動の支援や啓発を一層進めてまいりたいと考えておりますので、今後とも御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

結びに、特定非営利活動法人として新たな門出を迎えた「環境パートナーシップちば」の今後ますますの御発展と、皆様の御健勝を祈念いたしまして、挨拶とさせていただきます。

第１回（平成 30 年度）
非営利活動法人環境パートナーシップちば通常総会報告

事務局長　川島 謙治

任意団体から非営利活動法人（以下、NPO 法人）になって最初の通常総会を、５月１９日（土）午後１時 30 分～２時５０分、きぼーる（千葉市中央区）多目的室で開催しました。正会員数７０名のうち、総会出席者は４８名（実出席２６名、委任者２２名）でした。ご来賓として、千葉県環境生活部循環型社会推進課副課長 平川久美子様、一般社団法人 千葉県環境財団業務部次長 須藤雅彦様のお二人からご挨拶をいただいた後、通常総会議長に浅岡隆氏を選出し審議に入りました。

昨年１２月２３日の臨時総会で承認を得た後、本年１月２５日に法人としての登記によって出発したＮＰＯ法人は、「法人成り」という形で任意団体がそのままＮＰＯ法人になったため、平成 29 年度の報告については、任意団体の活動と決算、ＮＰＯ法人化してからの事業と決算に分け報告をし、審議をしていただきました。また、新年度 30 年度の事業計画と予算計画について説明をした後、審議をしていただきました。その結果、議案はすべて承認されましたのでご報告いたします。お忙しい中、総会にご出席いただきました皆様、貴重なご意見をいただきありがとうございました。

総会終了後、午後３：００～４：００まで『会員意見交流会』を開催し、参加者の皆様から、日頃の活動の紹介とＮＰＯ法人環パちばへの期待やアドバイスをいただきました。また、その後、理事・監事と運営委員会メンバーによる、初めての理事懇談会を行い、今後のＮＰＯ環パちばの事業、特に法人として環パちばが事業の主軸に置いている『ＳＤＧｓ達成のためのＥＳＤの進め方』について、意見交換を行いました。

NPO 法人化第１回総会後の「会員意見交流会」

環境パートナーシップちばが NPO 法人になって初めての総会後、「会員意見交流会」が行われました。まず、桑波田代表理事から、環パちば 20 年余の活動の歩みが紹介されました。エコマインド養成や環境学習指導者養成、子供や一般県民向けの環境講座の開催、エコメッセちばなどを担ってきました。他に地域のイベントに出展、公民館等に出前講座など、活動は多岐にわたりますが、それは割愛します。

その後は団体会員、個人会員から自己紹介などリレートークでした。その中で新しく入会された日本森林瑜伽（ヨガ）養生館の依田さんに、環境漫画家つやまあきひこさんが騒音について投げかけて、展開した話がおもしろかったです。他人には迷惑でも、バイクの爆音がストレス発散の快い音である場合がある。しかし、音は波動なので爆音は実は身体のストレスになっているかもしれない。深層部に耳を澄ませることは思考の本質だと思いました。

船橋市の花で、準絶滅危惧種に指定されているカザグルマを守る活動をされている大西さんは、一緒に活動した子どもの作文（市長賞を受賞）の中に、伝統を守る大人たちを見習いたいとあり、感動したと話されていました。「自分たちの住んでいる土地の植物を大切に育てる」ということは、この世界、自分と他者を大切にする気持ちに通じるものでしょう。

つまるところ、SDGｓや環境問題に対して大切なのは、各人の心がどの方向に向いているかという「心の姿勢」だと思います。もちろん知識やデータは不可欠ですが、さらに深く考え、愛ある心を持つ人の輪を絶やさない。様々な場所で活動されている参加者みなさんのトークを聞きながら、不穏なこのご時世、正解も近道もない茨の道を、私たちはあきらめずに歩き続ける同士なのかもしれない、と思いました。　　（文責 中村明子）

平成３０年度の事業について

特定非営利活動法人環境パートナーシップちば
事務局長　川島謙治

特定非営利活動法人環境パートナーシップちば（略称「ＮＰＯ環パちば」）は、環境活動の推進と充実を図るため、市民・企業・行政・学校との、パートナーシップのもと、『持続可能な開発に向けた目標（ＳＤＧｓ）』や『持続可能な開発のための教育（ＥＤＳ）』の視点を意識して、さらなる持続可能な社会の実現を目指すという目的を達成するため、３ つの事業を行うことを定款に定めています。

任意団体からの継続事業に加え、平成 30 年度は「ＮＰＯ環パちば」として「千葉県環境講座」・「地球環境基金」・「ちば環境再生基金」・「地球環境保全フロン対策基金」の事業を実施することになりました。新たなスタートを切った「ＮＰＯ環パちば」の事業へ、会員の皆様の積極的な参画・参加をお願いします。

各事業の今年度の事業計画は以下のとおりです。

１．『持続可能な社会を目指すための多様な主体とのネットワークの構築事業』

エコメッセ 2018in ちば､いちはら環境フェア、印旛沼流域環境・体験フェア他に参画・出展し、多様な主体とのネットワーク構築を行います。

２．『持続可能な社会を推進する人材育成事業』として次の４ つの事業を実施します。

1)「SDGs を達成するための ESD 担い手育成事業」（「地球環境基金」採択事業）

地域で SDGs を達成するための ESD の視点を持った担い手・地域リーダーを３年間で育成する事業を行います。

１年目は ESD の視点を入れた４ つ分野（生物多様性保全、地球温暖化防止、循環型社会形成、大気・水・土壌環境保全）での専門家、団体、企業、行政、学校などで既に活動されている方々に参加してもらい、千葉県版のモデルプログラムを作ると同時に、中心となるリーダーを育成します。２年目以降は、そのリーダーの協力を得て、千葉県北部地域、南部地域での担い手育成事業を展開します。担い手育成と同時に、担い手が活躍（機能）できる、プラットホーム作りも検討していく事業です。「地球環境基金」には３年の事業のまず１年目が採択されました。

2)「未来の環境活動担い手支援事業」（「ちば環境再生基金」採択事業）

県内の環境活動団体の情報収集とアンケートやヒアリング調査を行います。

3) 環境学習や環境講座の実施

⑴10 月８日開催のエコメッセ 2018in ちばにおいて「フロン対策から学ぶ地球環境保全フォーラム」を開催します。（「地球環境保全フロン対策基金」採択事業）

⑵千葉県よりの環境講座委託事業として、千葉県内各所で 12 回の講座実施をします。(詳細は「だより」本号５ページをご覧ください)

⑶千葉市公民館講座を４回実施します。

⑷エコサロンを２回開催予定です。

３．『環境活動の推進と充実を図るための情報の発信事業』

機関誌「だより」の発行とホームページの充実の他、ＳＮＳ活用による情報発信を行います。「だより」は、「紙」での発行とともに「WEB」での発行へと移行していきます。

花見川のナガエツルノゲイトウ繁茂状況報告

2018 年４月７日の印旛沼ウォーク（10km コース）に NPO 環パちばから桑波田、横山、小倉の３名が参加し、歩きながら花見川に生えているナガエツルノゲイトウ（以下、ナガエと略す）の繁茂状況を観察しました。

花見川のナガエの群落は、上流の大和田機場を通り抜けてくる切れ端が岸に引っかかり、そこで成長したものです。大雨のときは大和田機場には流域のあちこちから、雨水と一緒にナガエのかたまりが押し寄せてきます。そのため、ポンプが動かなくなってしまうこともあり、大変危険なので、上流部の桑納（かんのう）川や神崎（かんざき）川では、IVUSA（国際ボランティア学生協会）の皆さんの力を貸していただきながら、市民も交えて大きな群落の協働駆除活動を行ってきました。

花見川では、大和田機場（ポンプを故障させる）や桑納川、神崎川（農業用水と一緒に水田に入り込み水田の中や畔で繁茂する）のような直接的な被害は起こっていないようですが、大群落を作ると川をせき止めてしま可能性もあるので、監視を続けることは大切です。

ナガエ群落は、洪水で流されてしまいますが、残った根や新たに流れてきた切れ端で、すぐに大きな群落に成長してしまいます。一例として弁天橋から上流方向を撮った写真を並べてみます。①は、まだナガエが群落を作る前、②はすでに大きな群落に成長しています。また、②と③の間の 2015 年には記録的大降雨で群落は流されてしまったのですが、今回の調査で再び成長を始めていることが確認されました。③では６つに分かれている群落ですが、秋には一つの大群落に成長してしまうと思われます。

（文責　小倉久子）

① 2004 年

② 2013 年 4 月

③ 2018 年 4 月 7 日

第７回印旛沼流域圏交流会４月７日開催報告

印旛沼流域圏交流会　桑波田和子

印旛沼流域圏交流会は、印旛沼流域だけでなく、印旛沼とつながるあらゆる方々と緩やかにつながり、印旛沼再生に向けての情報交換や交流会を開催しています。

今回は、４月７日(土)の「大和田機場春の一般開放」と連動して開催しました。

10 時～17 時の開催ですが、大まかにⅢ部構成でした。葉桜と雨が気になる天気でしたが、可能な活動に参加してくださり、14 時からの意見交換会には、約 30 人近くの参加者がありました。

Ⅰ部：お花見・ナガエ観察ウォーキング
新検見川公園に集合して、ちば歩こう会の参加登録をし、10 時～12 時まで、花見川ナガエ観察ウォーキングを行いました。（調査結果は、だより 121 号に掲載）

Ⅱ部：大和田排水機場の施設見学
職員の解説付きで施設見学し、ポンプ試運転排水状況の迫力も体感しました。

Ⅲ部：印旛沼についてのいい話　　会議室
- ナガエツルノゲイトウと戦う大和田排水場（大和田排水機場）
- ドローンを使ってナガエ群落面積を調べる（千葉大学）
- ナガエツルノゲイトウを資源に（国立研究開発法人土木研究所）
- ナガエを食して SDGｓ（（株）八千代エンジニアリング）
- 参加者自己紹介と意見交換会（参加者全員）

意見交換では、参加者が印旛沼再生へ向けて熱く活動している様子が共有できました。特に意見のやり取りが多かったのは、「SDGｓ」というキーワードでした。

ナガエツルノゲイトウを資源活用するために、成分分析を担える会社とのマッチングなど、意見交換会は閉会予定時間を 30 分間延長する話し合いになり、盛り上がりました。

平成３０年度環境講座（千葉県主催）のご案内

NPO 環パちばでは、平成 30 年度環境講座の企画・実施を千葉県から受託しました。おもしろくて、ためになる講座が満載ですので、ぜひご参加ください。

詳細は、千葉県ホームページ（http://www.pref.chiba.lg.jp/wit/jouhou/kouzaikeika）
当会ホームページ（http://kanpachiba.com/）をご覧ください。

【内容】

１．子ども向け講座

講座名	講師	日時	場所	定員・対象*
【バスツアー】 夏休み　沼体験!	(一財)千葉県環境財団 須藤 雅彦氏　他	7 月 23 日(月) 9 時～17 時	手賀沼 他(我孫子市)	20 組 40 名／小学生とその保護者
【バスツアー】 夏休み　里山体験!	グループ 2000 横田 耕明氏　他	8 月 4 日(土) 8 時 30 分～16 時 30 分	大野台親子自然体験教室（千葉市）	20 組 40 名／小学生とその保護者
パーム油の秘密を追え	グリーン購入ネットワーク(GPN)パーム油購入研究会	8 月 29 日(水) 午前：10 時～12 時 午後：13 時 30 分～15 時 30 分	さわやかちば県民プラザ（柏市）	80 名(午前午後各 40 名)／小学生高学年(保護者同伴)、中学生
こども環境会議ちば	林 浩二氏（千葉県立中央博物館主任上席研究員）	12 月 2 日(日) 10 時～15 時	千葉県立中央博物館、ほか （千葉市）	80 名／県内のこどもエコクラブメンバー、こどもエコクラブ活動に興味のある人

２．一般県民向けの講座

講座名	講師	日時	場所	定員・対象
私たちを包む化学物質を知ろう	浦野 紘平氏（横浜国立大学名誉教授）	7 月 15 日(日) 14 時～16 時	船橋市中央公民館視聴覚室	60 名／高校生以上
【バスツアー】 ぐるっと印旛沼	近藤 昭彦氏(千葉大学教授)他	9 月 7 日(金) 9 時～16 時	北印旛沼、西印旛沼(栄町～八千代市)	40 名／18 歳以上
【バスツアー】 施設見学　～農業×エネルギーの未来～	特例認定 NPO 法人 太陽光発電所ネットワーク(PV-Net)、市民エネルギーちば合同会社	9 月 26 日(水) 9 時～17 時	銚子市、匝瑳市	40 名／18 歳以上
生物多様性異変 ～なぜ外来生物は増え続けるのか～	五箇 公一氏（国立研究開発法人 国立環境研究所）	10 月 20 日(土) 14 時～16 時	船橋市中央公民館視聴覚室	60 名／高校生以上
本当にすごい東京湾	木村 尚氏(海洋環境専門家)	11 月 18 日(日) 14 時～16 時	千葉市生涯学習センター 小ホール	80 名／高校生以上
世界からみた 日本の気候変動適応策	山岸 尚之氏(WWF ジャパン 気候変動・エネルギーグループ)	12 月 19 日(水) 14 時～16 時	市原市内（予定）	50 名／高校生以上

３．環境活動に取り組んでいる県民向けの講座

講座名	講師	日時	場所	定員・対象
リーダー養成講座 ～はじめの一歩　この指とまれ～（初心者向け）	沼倉 幸子氏（(一社)森のようちえんはっぴー代表） ファシリテーター:石井 雅章氏（神田外語大学准教授）	9 月 30 日(日) 10 時～16 時	千葉市内（予定）	20 名／環境学習リーダーとして活動を進めている人、これから活動のリーダーになりたい人
リーダー養成講座 ～環境学習スキルアップ～(中・上級者向け)	石井 雅章氏（神田外語大学准教授）	11 月 11 日(日) 10 時～16 時	千葉市内（予定）	20 名／環境学習リーダーとして活動を進めている人、これから活動のリーダーになりたい人

＊ 受講対象者は、すべて、千葉県在住・在勤・在学の方

【参加費用】無料

【申込方法】往復ハガキ（住所は下記）または E-mail （kenkouza@kanpachiba.com）
①参加希望講座名　②参加者氏名・全員（ふりがな）　③性別　④年齢　⑤自宅の連絡先（住所・電話（携帯）・E-mail 等）
２週間前申込期限必着、応募多数の場合は抽選

【申込・問い合わせ先】
特定非営利活動法人 環境パートナーシップちば 千葉県環境講座事務局
〒262-0006　千葉市花見川区横戸台 21-13
TEL　090-8116-4633（桑波田）　※土日・祝日を除く、平日 9 時から 17 時まで

「タネはだれのもの？」講演会に行ってきました

平成 30 年４月 14 日（土）、地元市民団体主催による標題の講演会が佐倉市立美術館のホールで開催され、講師の元農林水産大臣山田正彦氏が「種子法」について話されました。

日本には、主要農作物種子法という法律があって、この背景は、昭和 27 年に、戦後の食糧増産という国家的要請を背景に、国、都道府県が主導して、優良な種子（コメ、麦、大豆）の生産・普及を進める必要があるとの観点から制定されたそうです。しかしながらこの法律は、今年の４月１日をもって廃止となりました。マスコミにもあまり取り上げられていなかったし、私の勉強不足もあって講演会で初めて知りました。

廃止について国は「すでに役割を終えた」「国際競争力を持つために民間との連携が必要」と説明しているとのこと。

講師がなぜこの問題を取り上げたかは、次のような懸念材料があるからだそうです。

１．種子生産の公的支えがなくなる　２．種子の価格が値上がりする　3. 種子品種の多様性が失われる　４．多国籍企業による影響が強まる等

例えば、上記１．の、今まで公的支えがあったということは、あまり知られていなかったかもしれません。千葉県では、原種農場という施設で、千葉県の風土に合ったイネの種子をずっと維持栽培して供給していたそうです。その供給が民間に替わるというのです。全国で画一的な種子を使うことになるので生物多様性の逆行が心配されますし、また、２．については、主要穀物の種子が民間に開放されると種子の価格が４～１０倍になったり、遺伝子組み換えのコメを作付けするようになるだろうと話されました。

そういえば、先日つくば農研機構を見学した時、花粉症に効くコメの試作栽培を行っているとの説明を受けたことや、以前有機栽培農業者から、既に国内で販売されている野菜の種子については、90%超が海外で生産されたものだと教えていただいたことを思い出しました。

講演の内容は事態が身近なところまで差し迫っているし、明日のわが身に降りかかる問題と受け止め、悩み多い帰路となりました。

（文責　萩原耕作）

SDGs で千葉を元気に！　Part.2

５月 19 日（土）の NPO 環パちばの第１回通常総会でご承認いただきました､「2018 年 SDGs の NPO 環パちば取り組み」についてご案内させていただきます。

独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金の助成を受けて「SDG s 達成のための ESD 担い手育成事業」を、３年間の事業として取り組みます。事業活動は ① ESD 地域リーダー育成事業 ② SDGs を進めるプラットホームづくり ③情報の収集と発信 です。

① ESD 地域リーダー育成事業の１年目は、環境省が全国から集めた ESD 環境教育モデルプログラムを基にして、分野（例：生物多様性保全、地球温暖化防止、循環型社会形成、大気・水・土壌環境保全）ごとに地域版を作成する OJT 活動とします。対象は、環境学習をすでに実施している団体及び専門家になります。

② SDGs を進めるプラットホームづくりについては、市民団体・事業者・学校・行政・専門家にお集まりいただき、１年目にニーズや課題出しから始めて、２年目３年目で地域に出て、仕組みが形作られて行きます。これらは、ニュースレターとして発信し、団体支援につながるようにしていきます。

SDGs 達成のための ESD 担い手育成事業スタートアップとして『NPO 環パちば パートナーズミーティング』を開催します。

平成 30 年 ６月 25 日(月)
14:00～16:00
会場:きぼーる ビジネス支援センター15 階多目的室
(千葉市)

第一部では、「SDGs 達成のための ESD 担い手育成事業」の趣旨説明 、講演「SDGs と ESD をよく理解するために」は、講師として 島田 幸子氏（関東地方 ESD 活動支援センター)をお迎えし、事業を展開するための意見交換をファシリテーター石井 雅章 氏(神田外語大学) にお願いしています。

第１回「千葉版モデルプログラムづくり」として、プログラム化に関わられた専門家に基本の基を講演していただき、第２回につなげていただきます。千葉での活動にご協力をお願いいたします。

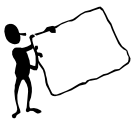
お申込み：６月 22 日(金)までにお名前、連絡先をメールか電話でお申込み願いします。

「SDGs 達成のための ESD 担い手育成事業」
事務局(NPO 環パちば)
e-mail：info@kanpachiba.com
電　話：090-8116-4633

（文責　横山 清美）

県内の環境保全活動人（団体）紹介　―　44　―

おききしました！　この人・この団体



NPO を支える制度をつくり、育てる

認定 NPO 法人シーズ･市民活動を支える制度をつくる会

関口　宏聡

今年 2018 年で NPO 法（特定非営利活動促進法）は成立・施行から 20 周年を迎えます。1998 年３月 19 日に成立し、同年 12 月１日から施行された NPO 法によって、現在では全国で約５万 2000 の NPO 法人（特定非営利活動法人）が様々な分野で活動しています。

この数は全国のコンビニエンスストアに匹敵する数（約５万 5000）となっていて、認知度でも「NPO 法人」という言葉を国民の９割が知っていると答える（平成 25 年世論調査）など、20 年をかけて NPO 法人制度が日本社会に定着し、身近なものとなってきました。この NPO 法人制度をつくり、育てるために活動しているのが、当団体シーズです。

私は 11 年前からシーズでアルバイトから働き始め、いつの間にか代表理事をやらせていただいておりますが、元々、こうした市民活動・NPO の世界に入るきっかけとなったのは、「環境系」からでした。

千葉県佐倉市で生まれ育った私は、図書館で出会った「ビオトープ」に関する書籍をきっかけに、中学校では学校ビオトープづくりを公約に生徒会に立候補してゲリラ的に穴掘りしたり、大学生の頃は地元の団体で子どもの自然体験活動のボランティアをやったりと、大学そっちのけで、どっぷり活動をしていました。2007 年の「千葉県環境学習基本方針」の策定には、環パちばの皆様と一緒に取り組みました。その当時お世話になった方々と、こうしてまた一緒に活動できて嬉しいです。

シーズとしても、環パちばさんのような環境 NPO/NGO が、もっと日本で活躍できるように、間接的な支援ではありますが、NPO 法人制度や寄付税制、NPO 支援施策等の拡充などのアドボカシー（政策提言）やロビイングを推進していく所存です。これからも、どうぞよろしくお願いいたします！

シーズ･市民活動を支える制度をつくる会
「NPOWEB」　URL：http://www.npoweb.jp/

◆シーズとは

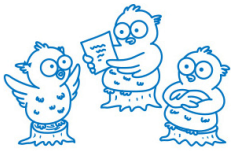
シーズ・市民活動を支える制度をつくる会は、1998 年の市民・議員立法による NPO 法制定にはじまり、認定 NPO 法人制度の創設、さらには NPO 法人会計基準の策定や、日本ファンドレイジング協会の創設など、一貫して市民活動を支える制度づくりに取り組んでいる組織です。

◆シーズミッション

『市民活動を支える制度をつくる。それにより人々の社会を変える力を強くする。』

◆シーズスタンダード

1. 「私達でしかできないこと」をする。
2. 明確な成果を出す。
3. 運動と事業を両立する。
4. 社会のために利益を追求する。
5. 顧客の成功に尽くす。
6. プロフェッショナルである。
7. フェアで働きがいのある職場をつくる。



≪認定 NPO 法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会 HP より≫

運営委員会報告

４月運営委員会

日時　４月１１日（水）18:00～20:55
場所　船橋市民活動センター

【報告】
- 30 年度受託事業経過
- エコメッセちば実行委員会
  4/12 総会 10/8 開催
- いちはら環境フェスタ 6/9
- 印旛沼流域圏交流会 4/7
- その他

【協議】
- 理事会・総会準備
- だより 121 号
- その他

５月運営委員会

日時　５月１０日（木）15:00～18:00
場所　船橋市民活動センター

【報告】
- 総会議案書・総会案内
- 県講座契約
- だより 121 号
- 千葉市公民館講座 8/2　8/3　10/5　2/23
- 理事会報告

【協議】
- 総会 運営・役割
- 理事懇談会
- 平成 30 年度助成金等事業の運営及び担当
- 正会員・一般会員・賛助会員について
- いちはら環境フェスタ
- エコメッセ 2018in ちば出展及び担当者
- その他

お知らせ

国立環境研究所公開シンポジウム 2018
（東京会場）

日時：2018 年 6 月 22 日（金）11：45～17：30
会場：メルパルクホール
（東京都港区芝公園 2－5－20）
テーマ：「水から考える環境のこれから」
内容：テーマに関する講演 5 題と関連する
研究テーマ 20 件のポスター発表
参加費：無料（要申込み）

参加申し込み：公式ＨＰ、ハガキ、ＦＡＸで。
申し込み締め切り：6 月 15 日（金）
申込先等の詳細：国立環境研究所
公開シンポジウム 2018 の公式ＨＰ
http://www.nies.go.jp/event/sympo/2018/index.html

第５回生物の多様性を育む農業国際会議
in いすみ市（ICEBA 2018）

日時　2018 年 7 月 20 日（金）～22 日（日）
会場：岬ふれあい会館（ＪＲ長者町駅近く）
主催：実行委員会（委員長 いすみ市長）、
自然と共生する里づくり連絡協議会
後援：農水省、環境省、国交省関東地方整備局、
千葉県
参加費：国際会議入場料 無料、
見学会等参加費 500 円、要旨集 1000 円、

詳細：いすみ市ＨＰ（ www.city.isumi.lg.jp/ ）
内のイベントカレンダーをご覧ください。

「特定非営利活動法人 環境パートナーシップちば」

環境活動の推進と充実を図るため、市民・団体・企業・行政・学校とのパートナーシップのもと、「持続可能な開発に向けた目標(SDGs)」や「持続可能な開発のための教育(ESD)」の視点を意識して、さらなる持続可能な社会の実現をめざすことを目的とする。

お問い合わせ
事務局：〒262-0006　千葉市花見川区横戸台 21-13　特定非営利活動法人 環境パートナーシップちば
Tel　：　090-8116-4633
E-mail：info@kanpachiba.com
http://kanpachiba.com/
※会費や会員申し込みなどの情報は上記 ＨＰでご確認ください。